

第3回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会

議事録

日時：平成22年3月24日（水）午前10時から午前12時

場所：門真市立リサイクルプラザ5階 第一会議室

出席委員：

| | |
|-------|--|
| 学識経験者 | 福岡大学大学院客員教授 工学研究科 工学博士 浦邊真郎 摂南大学学長付客員教授、大阪工業大学客員教授 農学博士 宮田秀明 大阪工業大学准教授 環境工学科 博 士 福岡雅子 |
| 市職員 | 北口総合政策部長、柏木市民生活部長、千住環境事業部長 |
| 市民の代表 | 畑智恵子、小寺美保子 |

事務局：田中センター長兼減量推進課長、柴田環境センター総括参事兼施設課長、
北野減量推進課長補佐、滝口上席主査、小森上席主査、水野

次 第

- 1 第二回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会議事録について
- 2 市立リサイクルプラザの今後の運営について
- 3 委員会のスケジュールについて
- 4 その他

| | |
|-----|---|
| 司会 | <p>大変お待たせいたしました。</p> <p>只今から第3回門真市立リサイクルプラザ運営検討委員会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては。公私何かとご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>私、本日の司会を務めさせていただきます減量推進課の滝口でございます。よろしく願いいたします。なお、議事録作成のために録音させていただいておりますので、ご了承願います。本日の委員出席は、8名でありますので、設置要綱第6条第2項の規定に達しております事をご報告いたします。本日、辻江委員におかれましては、交通事故のため入院されておられ、皆様によろしくとのことでした。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、委員長よりご挨拶を申し上げます。</p> |
| 委員長 | <p>おはようございます。この委員会も第3回の開催になりました。第1回・第2回と議論していただいて、まとまったかと言われますと、まだまだ、これから更に議論を重ねていく段階でございます。次回にまとまればよいと思っておりますが、今日の皆様の議論の進行によって、まとまればよいかと思っております。</p> |
| 司会 | <p>ここで、お手元に配布させていただいております資料のご確認をお願いしたいと存じます。資料は、会議次第、第2回議事録、他市のリサイクルプラザの状況、第3回リサイクルプラザ検討委員会資料、家庭ごみにかんするアンケートの調査結果でございます。</p> <p>それでは、委員長よろしく願います。</p> |
| 委員長 | <p>今日第3回の検討委員会の会議次第に基づきまして進めさせていただきます。まず、第2回検討委員会議事録の確認について事務局から、説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>第2回の議事録でございますが、前回同様お配りさせていただいております議事録は、ページ数も非常に多いと言う事で、本日もしくは今週中位に一度ご確認していただきまして、連絡をいただければと考えております。また、前回同様にメールで送りますので、また、ご確認の方をお願いしたいと思います。よろしく願います。</p> |
| 委員長 | <p>事務局から説明したように、議事録は25ページがございます。読んでいただいて、確認をお願いします。今週中に議事録の方を修正点等があれば事務局までお願いします。</p> <p>次に、門真市立リサイクルプラザの今後の運営について、前回に引き続き行いたいと思います。まず、他市のリサイクルプラザの状況について、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>前回ご意見の中で、各市のリサイクルプラザの状況をもう少し詳しく説明をと言うことでしたので、10市に問合せました。時間の関係で、その全部用意し</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>ていただくのは無理でしたが、委託料を払っておられるのか、一部が直営で運営されているとかがあります。次に、20年に行なった市民アンケートです。市民の方々の寄せられた要望とかを基本計画の資料の中から抜粋しております</p> |
| 委員長 | <p>リサイクルプラザの状況の資料について質問等ありますか。今、調査していただいた施設の中で、一番門真に近いのはどこですか。例えば、どの工房とかですかね。</p> |
| 委員 | <p>門真に近いのはエコネットふくおかが近いですが、門真で立ち上げる時にエコネットふくおかを見学に行きました。大体同じような形です。</p> |
| 委員 | <p>エコネットふくおかさんのやり方は門真市の現在のやり方と同じですか。それとも、今までのやり方が同じであっても現在は違いがあるとか</p> |
| 委員 | <p>門真市の立ち上げから19年度までは一緒です。</p> |
| 委員 | <p>現在のこことエコネットふくおかとは違いますね。</p> |
| 委員 | <p>でも、まったく違うのではない。ほとんど変わらない。</p> |
| 委員 | <p>例えば委託料とか・・・</p> |
| 委員 | <p>そうですね。委託料の面では20年度から変わってきています。</p> |
| 委員 | <p>使用状況の形態とか、運営状況は変わっていないですか。</p> |
| 委員 | <p>運営状態は変わっていないのです。申込状況も、今でも継続していて変わっていないです。</p> |
| 委員 | <p>エコネットふくおかはごみ減量化を目的にしていると言うような事ですが、運営からすると工房使用目的ですね。ごみ減量に直結しているのかわかりませんね。例えば、岡山県西部衛生施設組合はごみ減量に直結していないと言う事ですが、全般的に見るとごみの減量化に直結というような運営は実際にはないように思います。また、備考欄を見ましたら、行なっている工房もあまり変わっていないような気がするのですね。前回も、話がありましたが、リサイクルプラザを使って直接的にごみの減量かつ教育の面で結びつくような何かは難しいということですね。ごみの減量が直接結びつくような運営と工房の運営については、資料として求められた方としては、もう少し具体的なものが欲しいという感じです。</p> |
| 委員 | <p>運営についてよろしいですか。 ・・委員は目的に直結していないと言われたのですが、岡山県西部衛生施設組合はそうなんです、そのほかは全部直結できている、目的通りと言うふうに</p> |

| | |
|------|---|
| 委員 | <p>ずっと書いています。</p> <p>書いてありますが、備考欄を見ますと、どうも一致しないような気がするのです。何が直結していると言うことで、これをしたからこうなったというような事は必要だと思います。しかし、備考欄の内容を見ていると、似たり寄ったりの事が書いてあって何がごみの減量に直結しているか、具体的な工房の運営と言うのは読み取れないのです。読んだ感じで語ると、実際的に工房の目的と備考欄にある事は、普通の形であってどうも読み取れないので、もう少し具体的に分かるようでしたら解説をお願いできたらいいと思っています。</p> |
| 副委員長 | <p>直結と言う意味の取り方ですね。その運営は備考欄にあるようなことを行っておられて直結しているかじゃなくて、その事をする事によって一つの周知の結果と見るか、ごみのあり方で見ると、そう言うのを勉強してもらって、それがごみの減量に直結しているという見方だと思います。ワンクッションを置いた考え方をしている所と、そうでない所との違いが出ているのか、この内容を見る限りでは判断しにくいですね。</p> |
| 委員 | <p>例えば、紙すきをした時にごみの減量化に繋がるかはどうも分からないのです。ガラス工房だって実際にごみの減量化にどう直結しているか、これを直結しているとしたら、今、ガラスをこんな使い方したら何か直結していると見たら、確かに分かん事はないのです。ただ、それは現実的にはない事であって、結果的にごみの減量化が認識できていると言う事だと思います。調べた中で、それはうまく直結しているようなやり方が実際にはしているだけ運営面はうまくいかない。ここでは少し判断しにくいですね。ここではもう少し具体的に調べて欲しい。</p> |
| 事務局 | <p>・委員が言われたように、各自治体は備考欄の工房を行なう事によって、ごみの減量化ができていると言う認識を持ってもらえるようです。各自治体が問題意識として、こういう工房を行なう事によって啓発ができていると言う様な認識にあるかなと思うのですが、私どもの工房に付きましても、そういった形で、市民に啓発ができていると言う様な認識があると思いますが、ただ、前回にもありましたように、リピータが多いですとか、常連化して市民に広く啓発ができていないと言うふうなことがあります。各自治体としては、これはごみの減量化に直結していると言う様な評価している事かと思っています。</p> |
| 委員長 | <p>例えば、先程の福岡の所から運営方針を聞きたいとかと言うようなアンケートが来たら、どういうふうな回答を工房使用の目的は、本市ではどう答えますか。やっぱり直結しているとか、工房使用の状況は直結しているかと聞かれたらどう答えますか。</p> |
| 事務局 | <p>今の工房のあり方、リサイクルプラザの課題についてですね、決して満足していない、利用者のリピータ化と市民意識として、リサイクルプラザを知らないとか、行った事がないとか言うような事は、目的からすると決して成功ではないと言うような事になると思います。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | 例えば、先ほどの平成19年度まではエコネット福岡に似ていたが、現在はどこに似ているのですか。 |
| 委員 | どちらかと言うと福山ですかね。 |
| 委員長 | 福山ですね。やっぱり委託でしょうかね。ボランティアという点では、直営でないような感じになるのですか。 |
| 委員 | この工房使用の目的の所が、窓口は直営。職員とボランティアスタッフが市民を指導していると言う点で行けば、運営方法は現在の方が良いと思います。この形がいいですね。 |
| 委員長 | 今後、どちらかと言うと指定法人見たいな形で行なうか。指定管理者制度にしていくのかね。 |
| 委員 | そうするか、どうかは今後の議論になりますが、今までの反省に立ってエコネット福岡と同じような形がうまくいかなかったので変更したという事になりますね。 |
| 委員長 | アンケートで知名度がないと言うような事から、委託から直営に変えたが、それでももう少し多方面の方向を探るのが今回の議題だと理解してよろしいですか。 |
| 委員 | ここでごみ減量に直結しているのかどうかの判断ですが、実際にそういう啓発事業をおこなって、ごみの排出量がいくら減ったのかが減量化です。ここで考えているのは、啓発だけでもごみ減量化の啓発に直結していると思いますと言うような解釈で、実際にごみが減っていようが減っていないかじゃなく、啓発さえできれば直結しているような認識をされている方がほとんどかと思えます。ですから、岡山もごみ減量に直結していない工房も多分あると思います。啓発はやっていました。他は啓発だからごみ減量に繋がっていますと言う答えをしたと思います。大阪市の赤川リサイクルプラザですが、ここは市職員の退職者で行なっています。今はリサイクル目的としてパッチワークや手作りが行われていますが、パッチワークその物は確かにリサイクルの啓発ですが、使っている材料が新しい物を使って行われています。ごみの減量とは違います。門真でもそう言うものはダメです。環境学習でも白いハンカチ木綿を使って染めを体験する。結局、新しい物を使っている。そう言ったやり方は啓発にはなるかもしれないが、リサイクルになりません。ごみ減量には繋がらないです。だから啓発でごみ減量になるのか。実際にごみが増え減ったか減量になるのかと言う捉え方の違いだと思うですね。 |
| 委員 | 福岡市の備考欄ですね。それがごみ減量に直結していると言う事で、包丁研ぎがあります。各家庭でもされているのかわかりません。また、布ぞうり作りがあります。これが実際に使っているのか、このことがごみ減量に直結してい |

| | |
|----|---|
| | <p>ることになると思います。ここの工房、例えばガラス溶融も直結していません。藤手芸もありますね、実際にしているなら直結しているような差が開くとか、そういう意味で備考欄の中には、ごみが実際に家庭から出たごみがリサイクルをしていくような、少なくともごみ減量に繋がって行くような意味合いでは工房とも直結していないかなとこの備考欄を見て思います。</p> |
| 委員 | <p>確かに言われている通り、そういう工房も実践していますが、例えば、染め工房を見ても、新しい布を使って玉ねぎの皮で染めているので、実際はそのまま、ごみになるのではなく一拍置いてそれを何かに使って、最終的にはごみになるのです。煮出した後は不用になりますのでごみになります。先ほども言ったように、布ぞうりも要らない布を裂いて布草履をします。布草履も使い古くなったら結局ごみになります。どの工房を使われても、最終的にはごみになるのです。リフォーム工房だって、洋服を作っても切り刻んであとはもうごみになります。そのように確かにごみの減量に繋がっているかどうかと言われれば疑問です。自分達もそれらをやりながら感じています。ただ、すぐにごみにするのではなく、「もったない」の気持ちからもう一度利用しようと言うのが私たちもそれは啓発かなとは思っているのです。</p> |
| 委員 | <p>市長さんから指摘がありましたので、今の状況だとなかなか有効に利用されていないかなという思いがありましたので、実際的に例えば横浜市の鶴見リサイクルプラザのエコクッキングですが、廃棄物になるものの利用法だと思いますね。ごみになる前に使ってすべて有効に利用できる事ですね。それがごみの減量と繋がる。そうして、できるだけ直結に結び付けていけるような事が大事と思いますが、この備考欄を見ていますとそれがなかなか直結し難いと言う物も結構ありますね。ただ工房があるから利用するという感じがします。大半はあまり関係ないと言うような事も多いと思います。ここで門真市のリサイクルプラザで、そういう疑問点は、市長さんからも実際には直結しているかと言われて、私自身もあまり直結していないとの実感がしています。それだったらもう少し考え方を変えた方がいいじゃないかと思います。ここの工房運営の仕方が少しでもごみ減量に繋げていけるような情報が有ればいいですね。</p> |
| 委員 | <p>今、環境事業部ではごみ処理基本計画の見直しをやりまして、この4月1日から改定します。このごみ処理基本計画は低炭素について、重視しています、その点からごみ減量も排出抑制も今後の廃棄物処理は低炭素を基準にして、自然共生社会を掲げています。先程・委員のご意見の様に、ごみ減量とエネルギーの使用、染めの具体例をおっしゃっていましたが、染めは非常にエネルギーを使います。染めで使うガス、染料の水処理に、非常にエネルギーを使います。エネルギーを使う事は低炭素に反する、啓発でも、使い古しを使う啓発はいいですが、エネルギーを使う事は低炭素社会には、反対かなあと・ガラスについても同じ、ガラスは埋め立て処分か、リサイクルかになりますが、やはりバージンガラスでガラスを作る事がエネルギーが一番少ない、ガラスの材料は資源社会には多い、確かに低炭素目指すであればバージンガラスで作る必要がありますが、廃棄物の埋立地は困窮しています。ガラスをそのまま廃棄しますと、埋立地がひっばくします。平成7年までは、</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>大阪湾フェニックスは、やっていませんでしたので埋立地に非常に困っており、焼却に適さないごみは、直接埋め立てでは自然破壊をするような事になります。今後そういう環境保全はやるという事で、資源化と焼却、低炭素社会を目指すという事でやっております。その点からすると、このリサイクルプラザにおける啓発も、低炭素社会を目指した中で、エネルギーの節約も含めて、ごみ減量と環境を重視した物に絞っていったらいいじゃないかと言う、処理基本計画改正にあたってそう言う、考えた方です。</p> |
| <p>委員</p> | <p>ガラスの場合、やはりある程度再利用をしてこういう物ができるが、実際に家庭でごみ減量化にどう繋げるのか、やはり分別と言う事が一番大きな課題でどのように分別をしていくかで後はもう任すと言う話になりますね。実際に今、低炭素で言えば、集める時に白のガラスとか分別して、できるだけ色んな方向で分別するという事から、先の直結しているのか単なる商売の方になるような形でという事になりますが、そうすると工房はごみの減量化にどう結び付くかですね、なかなか低炭素に結びつけることは難しいですね。</p> |
| <p>委員</p> | <p>私が教育委員会にいたとき、社会教育の社会協力関係団体で色々な事業を行ないましたが、門真には文化会館でボランティアサークル団体が8団体。公民館でも100団体はあります。門真全体では200団体が所属して活動されています。これらの諸団体がどれだけ公益的な活動されているのかどうか、これは社会協力の団体に飛躍するののかどうかの基準になっていますね。社会協力団体であれば審査するのですが、色々な団体がございます。文化祭で展示をしたり、年間を通じて色々なボランティア活動をされておられる事で補助金を出したり、その代りに条件を付けたりしています。市からの支援団体には市の条件が付くと言うような事です。やはり公益性があるかどうかのも一つの基準の物差しになると思います。リサイクルプラザは名前の通りにリサイクルしているかどうかですね。ごみの減量にしているのかどうか。あるいは・・委員に言われているような低炭素、あるいは環境について公益的な活動をされている団体かどうか指標になってくると思います。門真のリサイクルプラザで行なっておられる内容の活動は公民館や文化会館でも、紙すきとかエコクッキングとか自分達の欲求を満たすためにしておられます。これは行政としては区別しないといけません。ただ、家具工房はいらなくなった家具を再生して、また市民に還元しているのは立派な公益的の活動でありますし、こういう事なら支援してやってくれたらと思います。そのようなことから言えば、リサイクルプラザは環境であり、ごみの減量であり、啓発活動であるので、これらをしっかりと押さえて活動していただけたらいいと思います。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>話を進めるために、リサイクルプラザの状況について、資料4-1を参考にし、この辺の関連を方向性と焦点に当てて進行していきたいと思っております。ごみに関する施策の方向性と言えば、第一位が処理費用削減する41%もあり、単純に言えばごみの減量、リサイクルに関する環境教育20%、次にエコ・パークの人気は非常に低いと言うか、広報で何かやらないといけないのか、アンケート結果を見てどういう展開をしたらいいのか、リサイクルプラザとしての展開方向がその辺に何があるかですね。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>一番上に「効率的なごみ収集を行う」があり、かなり市民の方はよく考えずに、回答していると思います。それじゃ家庭ごみ収集を週に1回にしますなどと言えば、皆はきっと反対されるでしょうね。収集を効率的に行なうには、週に1回行ないますだったら。これは第一位だからと捉われない方がいいと思います。先ほどからの議論の中で、例えば工房が全部いいのか、全部かダメとかじゃなくて、先ほども言われた公益性が有るもので、例えば低炭素になっていく物はいいとか、マトリクス表でも作って、公益性の評価をする、エネルギー低炭素ではどうかなどで評価をする。多分染めとか石けんとかの加熱するものはきっとマイナスになります。加熱するものなら絶対ダメですよ。だから、ガラス関係も低炭素だけで言うとダメです。一方、公益性で言うか啓発力で言うのがある子供たちに見せてそれがよく分かるということでは啓発効果があると言うような事があると思いますね。言い換えれば、エネルギーが多いからダメとは言えないと思います。だから、全部いいと全部ダメの議論をやめてそれぞれの物に付いて考えないといけないのではないのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>ガラスの場合でしたらね、例えば砕きまして、砕いて出せばそれも色々があつて、有る程度の形を作ると、比較的エネルギーがあまり使わなくて。</p> |
| 委員 | <p>長浜ですね、プラザ建設中に長浜を見学に行った時は、割れガラスでステンドグラスを作っていた。今回のアンケートを見ると材料がリサイクルでなくなっているから止める、割れガラスのステンドグラスは使えない、新しいバージンを使いましょうと言う事ですね。吹きガラスも止めた、ステンドグラスも止めた、これはもう材料がリサイクルでなくなっているので、来年度を目途に無くす方向で書いています。ガラスは長浜に黒壁があるから止めるでは、此処はガラスしかないのに、驚きです。</p> |
| 委員 | <p>物には一つの基準見たいな物が有って、それが調合しながらごみ減量化に繋いで行けるようになっていきます。アンケートを見ると市の中でこちらを使った事がある、ないというアンケートがありますが、ここのリサイクルプラザを知っているかどうか？と言うのは手前に有るのです。それはアンケートとしては、リサイクルが有る事は、知っているかどうか？のアンケート内容ですね。前回のアンケートの中では、リサイクルプラザが有る事さえ知らないという市民が結構いました。</p> |
| 委員 | <p>前回申しましたのは、このアンケートやったあとですね。処理基本計画の市民ワークショップに参加された方で、この場所を知らない方が多かったです。19年度の市民ワークショップでも、会場で此処を使ったのですが、市民は、プラザを知らなかったと言う意見がありました。今回のアンケートは、知らないことの説明は単純に聞いた。只、利用した事があるかないか？と言うのは・・・この部分は抜けています。</p> |
| 委員 | <p>知っているが利用はしていないと言うのはあるけども、知らないと言う事になってきたら、根本的に変わってきます。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員長 | <p>そろそろまとめる方向を考えていかないと思いますが、今日の議論を終わりにし、第3回の宿題とします。第1回と第2回の論点がどうなったかについて、説明を受けて、又、少しまとまったとの声があればと思います。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、門真市リサイクルプラザ運営検討委員会まとめについて、説明させていただきます。最初に、運営課題を委員会に6項目ほど提案させていただきました。①各工房運営が真のリサイクルを目的としているか。各工房が実施している事業で①環境・ごみ減量啓発効果②ごみ減量効果がどれくらいされているのか②多くの市民参加のできる新たな事業があるか→多くの市民参加が期待できる新事業①環境啓発提案型事業や同様な事業の発展手法、次に効果が期待できる他事業、そして最後にプラザの利用形態の在り方を説明させていただきました。③項目目はリサイクルプラザを介して発揮できる事業はと言う事で、これの具体的に事業の説明を又行っていませんでした。又、④項目目の環境学習推進事業です。その在り方や勧め方等の進め方の詳細についてであります。⑤項目目のNPO、関係団体との良好な提携事業等と言う事で→公民協働事業の有り方①市民が望み協働事業がどういったものか②公民協働事業はどのようなものか、③プラザの適正かつ有効的に活用事業とどのようなものか。</p> <p>(①NPOの補助金が人件費に費やすのは問題であると。⑥項目目の公施設の共益費の徴収の有り方として、共益費の徴収使用料の設定方法や周知期間等を設定しております。</p> <p>次は問題点として第1回の意見をまとめました。市民がリサイクルプラザに興味を持つのか、興味を持った人にリードしてもらう。経費は徴収するのが施策の財源はどうするか議論も必要である。工房の光熱費が高いのと人件費を含めた経費が掛り過ぎる。門真市に誇れるものが無いと言うご意見もありました。又は実際にリサイクルと言うように上手く行かない。次はフリーマの出展者が固定化している。客も常習化している。又、利用も減少している。団体会員数が増えない活動に問題がある。団体の知名度が低い。何故か広がらない啓発活動に問題がある。求められているのは今までと違う方向なのか。市民に知名度が低い問題がある。入りにくい、参加し難い。やりたい事は同じ。NPOは有給、ボランティアは有償。有償ボランティアが少なかったと言う事です。第2回の課題についての意見は：プラザを知らない人が多い成功していない。集客人数を達成何人で、何人来ていると人数的にはこれでよしという事ですか。各工房利用が同じ人、常連が多い。数字の目標を持つのは、少し違う方向だ。利用者数で現状を突破できるのか。リサイクルプラザの目的、工房設置目的で。次に工房体験は費用的面で検討を要する。新規がないので啓発が広がらない。ガラス、紙すぎ、染め等は趣味的でリサイクルか、本当のリサイクルの啓発になっていない。工房利用状況。美術館するには総合的な人材が必要との意見がありました。</p> <p>次に、第1回での検討の方向性であります。経費のあり方を含めたプラザに限らず幅広く検討する。プラザを利用した考え方。市民意向の方向性を掴む。市民からの要望。プラザに限らずリサイクル、減量を新発想で幅広く検討する。プラザを利用に限定すると少し上乗せで終わる。プラザに限らず公募等広範囲で検討する。新事業の提案をどうするか。他からの事業提案か委員会から提案</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>されました。市民からプラザのあり方の意見募集。現状の改善か、未来に向かってのあり方。指定管理制度の方向で検討する。この街を良くする目的意識を持つ。現状の改善か未来に向かってあり方。ごみ減量の方向で検討する。廃棄物を利用する。プラザをどう運営するのか方向で検討する。提案を幅広げて検討し選定する。最終で整理する。</p> <p>第2回での検討の方向性であります。行政が環境をやっていききたいのか。環境とか議論の中が全然見えない。ガラス工房が本当にリサイクルやごみ減量するために教育になるのかどうか。ガラス工房は、リサイクルの意味がない。マイナス効果では中止。施設見学。プラザの運営。環境推進事業に工房体験が必要か。リサイクルプラザを利活用して、有効な環境学習。3R等ができるか。分別がどう生かしていくか。プラザの活用方策。プラザだけではできない物。委員会でプラザの使用方策を議論する。今後は、どういう形にそれを舞台に持っていくかと言う事を次回検討したいという方向性です。問題意識は共有できた。</p> <p>次は、第1回での活用事業提案の提案について、3R活動から枠を広げる活用。ごみのPR以外の活用。高齢者や障がい者の就労機会に活用。環境問題を軸に新たな事業。公民協働事業の展開。公民活動拠点の提供。公民協働を目的として活用。門真市の魅力づくりに活用。門真市を中心に進める。まちづくり、街の再生を目指して。空き店舗とかタイアップで考える。フリーマ、ギャラリー、アート等に貸す。市民が興味を持つ事に利用する。全国から出品したいような行事の企画。ごみ処理施設の見学等を生かした活用。既存設備を最大活用した事業展開。フリーな発想で活用する。定期的な不用品交換。廃家電リサイクルに利用する。部品の交換場。修理工房で再販する。自転車、家具修理して空き店舗で再販。個展をプラザでやる。インターネットで門真から発信する。新しい行政と市民の協働作品作り。</p> <p>第2回での活用事業提案の提案については、提案型事業、環境学習推進事業の事業は続ける。小学校社会見学は続ける。工房全部は稼働させない。工房を他のものに変える。根本的な教育を考える。減量、資源循環型を考える。ガラス、陶芸、石けん、エコクッキング、紙すき工房は続ける。委員会でプラザの使用利用の検討が焦点。プラザで何ができるか、できないかをも含めて検討する。美術館のように総合的なプロデュース。事業で利用した工房は続ける。低炭素等を含めた啓発。貸し館事業。ごみ減量と資源化。3R啓発をする。</p> <p>検討委員会の意見集約の方向性を次回でもう一度議論する。これをやれば合格という答えが無い。基本的な課題をもう一度検討し、第3回・第4回で、議論したい。より良い考え方を第3回で議論したいという意見。これらを踏まえまして、委員長が言われた、これがいいと言う方向性がない。委員会で全てまとまる事は難しい。方向性としてはリサイクルプラザを利用して有効な環境学習や3R等ができるかを最終的に報告という形に。委員長としては、両論併記的なまとめになる。今後は時間をかけて検討していきたいという事です。以上です。簡単にまとめさせていただきました。</p> |
| 委員長 | <p>説明していただきました1回、2回のまとめは非常に試みを生み出すためには色々な意見が出てきたことは非常に喜ばしい事ですが、今後まとめる方向になって行くとなかなか、集約し難い部分がございます。今までの議論をリサイク</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>ルプラザの配置する目的は、そう多くは変わっていないと思いますが、基本のごみ減量、3R、実際にごみ減量啓発に効果的な事業がリサイクルプラザであると思いますので、やり方はどうしていくか、第2回の際はプラザの運営方法ができれば指定管理者制度で行なう方法もある。又は直営方法も過去に行なったように法人に委託ではなく、指定管理者で運営していくと、その運営方法もどのようにして行くかと思いますが、先ほどの各市のリサイクルプラザの運営状況を見てどうなのかですね。</p> |
| 委員 | <p>指定管理者の進め方にもよると思います。例えば、何かの入札的な安ければいいような発想でお金の掛る事は限りなく切り捨て何もやらないで、開館さえしておけば見たいな考え方でやられたら、何もならないですよ。だから、指定管理者制度を使うなら使うで、そこでもう一回ちゃんと考えないといけないと思います。</p> |
| 委員 | <p>それが実際にできるかどうかと言う事で、ここはあの価格見たいな内容をどういうふうに重視するかと言う事で、例えば総合的に判断するのは非常に難しい。先ほど、言われましたが運営目的の中に当初に環境とごみ減量それを含めて先ほどの低炭素も考えると、実際にそれをしていくとなると、ひとつひとつについて、その物差しやその課題にそれが有効になっているどうか。この施設をうまく利用しながら進めなければと思います。</p> |
| 委員 | <p>先程の指定管理の話ですが、今回のアンケートでは、指定管理の委託は3件ありますが、1件はシルバー人材センターで、他1件も事業と管理を一緒にしている、指定管理と言っても大阪吹田プラザは財団法人が指定管理になっている、大阪市赤川の財団も退職者で、現実的には直営です。</p> |
| 委員 | <p>指定管理者制度に馴染むのは、やはりある程度の収益が見込まれるものでしょうね。指定管理者になったら、この場所を使って、たとえば美術館とか、この場所にいろんなイベントをしてお客様から入場料を取って、指定管理を引き受けたところもなんか収入が入るみたいな事があってこそ、指定管理者の成り手が色々な人が来ます。ここは元々そういう収益が見込まれないので、運営費が少ないと、指定管理を受けたところがあってもそこは限りなく経費を節減してやる方向を第一に考えると思います。それでなかった場合は直営に近い元々この運営を受託していたところが指定管理という名前で参加してこられる事になりますよね。そうでなかったら、多分、そんな啓発事業はできないです。</p> |
| 委員 | <p>この10件という数は少ないですね。</p> |
| 委員 | <p>元々、ここはゴミ減量の啓発のために建てられたものですよね。啓発には収益は望めないと思います。でも、それがなければ運営するには何らかの収益がなければできない。その辺は今現在の状態です。</p> |
| 委員 | <p>建設時は指定管理者の検討もありましたが、ボランティア活動の場として。市民のボランティア活動を目的としているので、収益が必要でしょうか。</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>収益が望めるのであれば、民間がやれば良い訳で。実際、収益が見込めなくてもごみ減量は、重要で市民生活に直結し、市民協働の活動の場としてできれば、収益を目指している訳ではないのです。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>逆にまとまって行くと、リサイクルプラザの運営方法とはどう有るべきかと言う話になると、基本的には市民のボランティア活動で運営するかどうか、これは誰かをまとめていただけるかどうかと言う事になります。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今年度から貸館になっていますが、このままで光熱水費を考えながら行っていくのか。このままで行くのか。啓発を主に考えるのか、この2つで絞られると思いますが、啓発を選んだ場合は収益を見込んで難しいですね。</p> |
| <p>委員</p> | <p>リサイクルプラザがセッティングされた以後に、色々とNPO法人が設立され、門真市にもありますね。最初に設立された時の状況とは違ってきているのではないのでしょうか。そう言う意味では、この低炭素が強調されていますが、総合的にボランティアに近い状態で、改めて色々考えなければならぬ。特にシルバー化が進んで、高齢者をボランティアとして活用することも含めて、門真市民が直結することで、色んな事ができると思います。募集をして有効な人材を求めたらいいと思います。直営にするか、指定管理者化するかはリサイクルプラザの運営にあったかたちに改めていくといいと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>工房関係で先ほどからずっと出ているのですが、低炭素や、啓発構築性、ごみ減量化を考えるうえで、現在は11工房がありますが、各市にも同様の工房があります。それに対する個々の評価をすれば、ここの工房は評価が高い、これはダメだと言うように・・・委員もおっしゃっていたから、そのような評価の資料を次回にいただければ嬉しいです。指定管理にするとすれば、このプラザの中には、行政の部分やプラントの部分もありますが、どこまで指定管理にするのか、工房の運営だけにするのか？どうするのがいいのでしょうか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>公の施設に移行したのは21年4月1日からです。 公の施設は、リサイクルプラザの部分です。行政施設から、公の施設に移行しました。 門真市立リサイクルプラザ設置条例を作ったのです。自転車工房・家具工房の二つは、公の施設から外しています。自転車工房と家具工房は公平に市民に使用させるには適さない、一年間の独占になります。それと、二つの工房はこの施設の建物から離れているので、公の施設からは離していいだろうと言う事で、もう一つはこの建物内の保管庫です、この保管庫を8ブースのスペースとして目的外使用の専用許可で、此処の工房等を利用されているグループに貸すと言う事で、公施設から外しています。 公の施設を指定管理へ移行する問題点として、平成21年度で検討する予定でしたが、プラザの空調設備、建築設備はプラントと一体になっている、北側のエレベータは公の施設で南側は、地下階、1階から3階までプラント部分です。指定管理区分で事務所の冷暖房は電気で、工房はガスですから、施設部分と公の施設部分を何処で区分するかの検討です。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>もう一つは指定管理者で事業運営を行うのか、市民を中心に事業運営を行うのかを、21年度で検討する予定でしたが、出来なかったため、22年度から検討委すると、決まっています。</p> |
| 委員 | <p>指定管理をしようと思えば、自転車工房と家具工房を公の施設からは外しているのですね。</p> |
| 委員 | <p>今は外していますが、指定管理に入れるか検討すべきです。 今回は工房がリサイクルに直結しているか、今の工房が目的に沿っているのかと言う点でご意見を頂いて、事業を継続していくか第2回目に出して頂いた点に絞ってこのプラザをどのようにやって行くかと言う話になると思います。</p> |
| 委員長 | <p>1回目、2回目を行うごとに段々深みにはまっていくというか、設置目的が広がって、例えば低炭素社会などが増えて来ているので、運営方向も難しいですね。</p> |
| 委員 | <p>仮に指定管理者にするとして、事業運営は別となれば、指定管理者は維持管理のみになるのですね。</p> |
| 委員 | <p>施設の管理と使用料の徴収ができるのです。例えば貸館の使用料金徴収や、事業展開なら、その収入が得られます。11工房を全部指定管理者にして、その中の部分を事業委託して、後は貸館だけに限定することも考えられます。</p> |
| 委員 | <p>11工房を別々の団体が使っているとしたら、その11工房全部を指定管理者にすることはできるのですか。</p> |
| 委員 | <p>それは可能です。</p> |
| 委員 | <p>公の施設として市条例を作っている限りは、公の使用している部分を区切るの は出来ないと思います。公の施設については、このプラザの建物内の1階イン フォメーションと4階5階の工房及びリサイクルプラザの施設、これは公の施 設として、指定管理に移行するとことすればこの部分になる。 直営は、人件費が高い、民間の活用で行けば、いくらで出来ますかと言う形な ので、指定管理の方がいい、経費削減にもなる。</p> |
| 委員 | <p>工房の光熱水費と人件費がいくら位かかるのか。それが指定管理の基礎になる のです。</p> |
| 委員 | <p>指定管理の場合、各工房で何をしていくのか。募集要項やそのほかの事など、 工房を使って何をするかは、指定管理者からより良い提案をいただければいい かと思います。</p> |
| 委員 | <p>本来、指定管理者はある程度の自主性があり、例えば11工房のなかで良い所 だけを残し、他は入れ替えるなど。また、収益性のある工房を考えたりできる</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ものですね。ただ、それでいいのかどうか。</p> |
| 委員 | <p>工房を目的に沿ってどこまで、どのようにするか、うまく調整出来れば一番簡単ですが、うまくいかない場合でも、基本的には指定管理者の方向で進めるという強い希望があるのですか。</p> |
| 委員 | <p>基本的に市の公の施設は、順次指定管理に向かう基本は決められるので、市立文化会館とか公民館等がありますが、公益施設は可能な限り指定管理の方に移行するものです。</p> |
| 委員 | <p>その方向性はあるとして、この委員会は施設管理だけじゃなく、委員会の役割は何をするのですか。工房利用は目的に沿った形を指定管理者で運営するとしても基準にするものは考えるのですかね。</p> |
| 委員 | <p>今回の検討委員会は指定管理の条件作りの検討でなくで、このリサイクルプラザの工房活動をどういうふうにやって行く検討委員会です。</p> |
| 委員 | <p>指定管理の検討ではないのですね。</p> |
| 委員 | <p>指定管理の話ではないです。</p> |
| 委員 | <p>そこはもう考えなくていいのですね。</p> |
| 委員 | <p>ごみ減量に直結しているか又は趣味的の事か、趣味的な事なら文化会館とか、社会教育施設等でできる。大阪市では、クラフトは社会教育事業でやっています、門真市も、社会教育施設でリサイクルをテーマに開催してもらってもいいじゃないかなあ。 プラザはごみ処理施設なので、前回の意見のように、焼却施設を含めた、ごみの処理に繋がる見学が出来る、ごみ減量を注視した施設見学に変えていく事も一つの提案かと思います。</p> |
| 委員 | <p>あくまでも目的があって、工房施設をどのように使用していくかに焦点を絞って検討する方がいいと思います。ごみ減量はどの工房を利用して、費用はどの程度に掛るのか、その辺は市長が言われたようにうまくいってない11工房は減量化に繋がっていない、3Rの啓発にもなっていない、光熱水費が高くなど問題ですね。</p> |
| 委員 | <p>11工房のなかで、ひとつの工房がごみを再利用しているのか、あるいは新品を使っているのか。現状は公益性があるのかどうかの、ごみの減量に役立っているか。事務的には貸館に限定すればいい訳で、そこに合致しているかどうかだと思います。</p> |
| 事務局 | <p>よろしいですか。先ほどの・・・委員が聞かれたように、ガス代については、この施設全体で月々40～50万円掛ります。他の部屋はあまり掛らないのです</p> |

| | |
|-----|---|
| | が、ガラスの部屋は溶解炉がありまして、一度電気を入れれば9ヶ月間付けば っなしの状態になります。おおよその計算ですが、207日で計算して月に約 20円万円です。 |
| 委員 | 実質的に工房に掛る費用をはっきりさせるのはなかなかむずかしいですね。 |
| 事務局 | この施設の運営と管理、5階の資料室、減量推進課の事務や資料作りをしてい ただいて、約2000万円弱ですね。 |
| 委員 | それは嘱託職員の場合であって、それで施設の管理とかはしている部分は |
| 委員 | 3名で。市職員なら900万円なら2700万円になる。 |
| 委員 | 指定管理にした方が安いですね。 |
| 委員 | 工房に対して幾らとかじゃなくで、施設管理だけです。 工房は貸館的で、市民の実質的な使用に任している。市が講師を派遣したりし ていない。 |
| 委員 | ・・委員が言われた指定管理者移行の根拠になるは、19年度まで支出してい た約1500万円に近いですね。 |
| 委員 | 直営職員で一切を行なった場合は、1500万円では足りないかもしれません ね。 |
| 委員 | それを上乗せして指定管理者に委託するのですか。 |
| 委員 | 年間です、19年度は事業運営を委託し、管理業務は市役所業務としてやって います。 直営職員3名なので、今も状態は変わらない、21年度は嘱託職員を3名入れ て、委託の部分を行った。22年度は更に2名増やしまして、665万円をや ってます。 |
| 委員 | そこに光熱費を加えて、事業運営費を加えずに、指定管理者に。 |
| 委員 | 移行するかどうか。 |
| 委員 | 事業運営費については別途に考える、これも上乗せにするのか、別の運営する のか考える。 |
| 委員長 | リサイクルプラザの設置目的は、今まではごみ減量に資するかアンケートにも あった直結するのかが一つで、11工房ではどうか、低炭素社会はごみ 減量などと共にごみ処理基本計画で打ち出したからと言う事で、この低炭素社 会を考えるうえでどうなのか、また、環境学習を設置目的の中に入れる訳、そ |

| | |
|-----|---|
| | <p>れで公共性の高いかどうか判断していただきたい。そうした前提を基に、11工房を次回までに整理していただけますかね。具体的な工房をどうしていくかに限定していかざるを得ないとおもいます。</p> |
| 委員 | <p>工房の仕分けですようね。要するに11工房の仕分けですようね。ごみの減量にどれだけ直結している工房があるのかです。</p> |
| 委員 | <p>そうです。実際に経緯に基づいて検証するという事ですね。</p> |
| 委員 | <p>ごみ減量については、・・・委員がおしゃっているように環境マトリックスを作って、低炭素とか自然共生社会とか、ごみ減量にどれだけ貢献するとかに、マトリックス評価が付くといいではないかと。</p> |
| 委員長 | <p>現在ある11工房について評価を行なうことと新たな工房があるどうかわかりませんが、それ以外の工房を利用したいとか言う要望があるか。</p> |
| 委員 | <p>まず、今の行っている事を先に考えて、それから次の事を考えた方がいいと思います。</p> |
| 委員長 | <p>11工房をみんな公益性があるどうか考えたいと。</p> |
| 委員 | <p>11工房で今活動されている方は、仕分けされる状況はご存知でないですね。それなりに自分達の意識で考えたいと思っておられるのではないかと、思います。でも現状は現状として、可能性として言いたい事が有れば聞いてあげるべきと思います。</p> |
| 委員 | <p>今回の事業仕分けよりも、環境評価で言う点でしたらどうかと思います。</p> |
| 委員 | <p>事務局から用意していただいた資料としては、現状がこういう部分ですよ。エネルギーがこうやって使っているのですよとかを出していただいて、委員のメンバーでそれに評価を付けていく。これは可能性があるとか、これは全然ダメだとかの評価を。事務局は評価した資料までは出してもらわなくてもいいという事でどうでしょう。</p> |
| 委員 | <p>難しいですね。どういった評価になるのか難しいですね。一つは今環境家計簿とか言うやつですけども、このリサイクルプラザでリサイクル家計簿を一つの評価とすればいいじゃないかというようなイメージを考えている。</p> |
| 委員 | <p>環境家計簿は毎日をどれ位のエネルギーを使ったのかを書いていくものなのですが。</p> |
| 委員 | <p>このリサイクル家計簿は何々工房がエネルギーを非常に使っていたとか、これは低炭素に反する事だし、ごみ減量には貢献していると、まあ、色々な項目があると思いますけど。環境のマトリックスの表で見れば、各工房の姿が見えて</p> |

| | |
|-----|--|
| | 来ますが |
| 委員 | 最低評価の採点の仕方がありますが、こういった評価の仕方では採点されますか。 |
| 委員 | プラザの設置目的から言うとごみ減量になる、エネルギーの削減とも繋がります。例えば、減量は普通に使っている物を、電気代とかは簡単にできますよね。先ほどからの公益性とかあるいは環境教育の発揮効果とかあるいはごみの減量化をどう繋げるのか、繋がっているとか繋がっていないとかじゃなく、こんな事から繋がっているのですよ、といった事を丁寧に書いていただくといいと思います。数字ではなかなかむずかしいものがありますから、我々としては実際にもう少し詳しい資料が欲しい。 |
| 委員 | それともう一つ、今は11工房ですね、今回の検討委員会の意見で、フリーマやイベントと言う話があります。イベント関係を11工房に付けくわえたらいい、今回の検討委員会でフリーマが固定化して、もう衰退して来ているという情報の評価がありますよね、実際は、固定化して、意味がないで止めますと言っています。 |
| 委員 | 止めるとは言っていない。ちょっと間を置くだけです。 |
| 委員 | それは止めないと言う話ですかね。 |
| 委員 | マンネリ化になっているので、少し間を置こうということです。 |
| 委員 | 評価の仕方も2面性なので、要望はあるけども、 |
| 委員長 | こう言う評価は非常に難しい、平常的に何点を取っての評価を委員の中で議論をしてもバラつく可能性があり、まとまるとは思わないです。議論を第3回からは議論の方向性が少し見えてきたような感じがします。 |
| 委員 | もう一点ですが、環境教育にはあくまでも、工房に限った事を考えた方がいいのですよね。先ほど、施設見学とか小学生が来て見学するとかありましたよね。 |
| 委員 | 前回のご意見では、環境学習とか提案型事業で使用した工房は残す評価がありますので、これらも入れた方がいいじゃないのか。 |
| 委員 | 工房以外に、施設見学をされますよね。環境教育の効果をもうひとつ入れた方がいいですね。もうひとつは、見学に来られた時にアンケート評価を取っていたのですか。来て体験して帰るだけという事で、来てよかったとか、悪かったとかの評価はないのですか。ごみを減らそうと思う気持ちにはなったのとかですね。 |
| 事務局 | アンケートの形態ではないのですか、感想文をいただいております。 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | その感想文の中で、ごみの処理は大変だなと言うような事で終わっているのかなと思います。ごみを減らさなければいけないとか、嫌な面もしないといかんとか。見学しながらごみを燃やすと煙が出て、色んな面で説明していかないと減らそうと言う気持ちにはなりませんよね。 |
| 委員 | 私も最近お願いをして高校生を一杯連れておきながら、何もそういう考えていなかったの、今は改めて考えました。 |
| 委員 | 浄水場で毎日の生活排水はこんなに汚い水でもこんなに綺麗になりますと、逆にこんな教え方をしていたら、水は幾らでも汚していいと、水は汚してもいい教育になる訳です。むしろ、その排ガス処理で積算したら凄いい中身になる、それは現状でもあり、これが限度ですと言うようなことを教える、今の医薬品でも河川を汚染して大変な事になる。それも下水処理場の限界でもある訳ですね。施設見学の目的を環境教育でごみを減らそう、ここが目的ですよ。ごみの減量、3Rとか環境教育と言うような非常に役に立ったと、これからはそうしないといけないという教育だったら、それはそれでベターですが。逆になかったら、目的に逆行することになります。 |
| 委員 | 生徒にアンケートを取るのはむずかしい。 |
| 委員 | 実際の現状に知ってもらおうという意味あい、技術の限界という事もありますので、ごみを出したら、それだけ悪くなると出せば出すほど悪くなるし、資源も減っていくと言う事が有りますので、評価をすればしたら少し見学に来て、こんな効果があったとかの評価が必要で何人来たかは分かるのです。 |
| 委員 | 門真市が行っている環境学習推進事業は小学4年生を対象にやっている、小学校4年生の教本で「働く人」という内容で色んな施設で働く人、毎日頑張っている感想になっています。それとその教科書自体がごみを出して、減量して、資源化し綺麗になって又、資源化に還ってくると言う様な美しい教科書にしかなくなっていない。正しく焼いて、資源化して終わりやと、水に流した下水道は魚に良くて終わりやと、こんな教科書ですよ。けして環境が悪化するとかの話とか、問題点訴える様な話での教科書にはなっていないのです。 |
| 委員 | それは水を汚しても、ごみ出しても、関係ないと言う様な話ですね。 |
| 委員 | そういう発想の教科書です。 |
| 委員 | そういう教育をしているのですね、だから実際には問題の解決にはならないですね。 |
| 委員長 | 評価に繋がるような資料があれば、是非出していただきたいと言う事、お金の問題だけじゃなくて、エネルギーの光熱費等、何か有れば出していただきたい。適量の判断はなかなかむずかしい、適量の判断はお金の方はある程度できるか |

| | |
|------------|--|
| | <p>もしれません。環境教育とかごみ減量とかに繋がったか、非常に判断がむずかしい。だから議論していくうえで関連資料があればできるだけまとめてください。今日は時間も過ぎましたので、今日のまとめをさせていただくと、プラザの設置目的に環境マトリックス表にごみ減量だけではなく、低炭素社会とか、環境教育とか含めて考えて、評価視点で11工房の評価をできる資料を提出していただければ、イベントとかフリーマも含めて。フリーマは今まで何処でされていたのですか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>4階です。</p> |
| <p>委員</p> | <p>周知の範囲は何処までですか。その辺の関連もあると思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>門真市広報・パド・フリーマーケット天国（フリ天）等の掲載です。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>イベント、フリーマや貸館事業も含めて、次回の第4回でまとめたいと思います。日程ですが皆さんのご都合はいかがですか。 （日程調整） 次回は4月27日午前10時からで皆さんよろしくお願いします。 それでは終了します。</p> |